

2023年 9月27日

株式会社千葉京成ホテル

**本物の車両部品をアップサイクルしてコンセプトルームに！**  
**「本物の運転台でシミュレーター体験！**  
**京成電鉄3400形トレインルーム」宿泊プラン**  
**2023年10月1日(日)より一般予約受付開始**

京成グループの千葉京成ホテル(本社:千葉市中央区、社長:加藤 雅哉)が運営する京成ホテルミラマーレでは、営業運転を終了した京成電鉄3400形の車両部品を活用したコンセプトルーム宿泊プラン「本物の運転台でシミュレーター体験！ 京成電鉄3400形トレインルーム」宿泊プランの一般予約を2023年10月1日(日)から開始します。



京成電鉄3400形トレインルーム(画像は施工中です)

本商品は、当ホテル第2弾となる鉄道コンセプトルームの宿泊プランです。2023年7月15日(土)よりクラウドファンディングでプロジェクト支援の募集を行い、この度完成しました。

本物の運転台で運転体験シミュレーターができる日本初のコンセプトルームで、実際の車両扉などの部品も展示するなど、第1弾よりバージョンアップしております。

全国の京成ファンや電車好きの皆さまにお楽しみ頂ける宿泊ルームとなっております。リアルな3400形トレインルームをぜひご利用ください。

本件の詳細は、次頁の通りです。

## 「本物の運転台でシミュレーター体験！」

### 京成電鉄3400形トレインルーム」宿泊プランについて

1. **コンセプト** 営業運転を終了した京成電鉄3400形3418編成(一部3438編成)の部品を再利用し、本物の運転台や計器類、表示灯類、車掌スイッチ、車掌台などに触れながら運転シミュレーター体験をすることができます。この他にも同車両に係る展示品を多数設置するなど、京成の電車の魅力を感じながらご滞在いただけるプランです。
2. **宿泊期間** 2023年10月16日(月)から  
※チェックイン13:00～、チェックアウト～11:00
3. **予約受付** 2023年10月1日(日)から
4. **客室** 京成ホテルミラマーレ 本館 ラグジュアリーツイン(42㎡)  
メインベッド2台(幅140cm)とエキストラベッド1台(幅90cm)にて大人3名、添い寝2名まで対応。(添い寝は未就学児まで)
5. **料金** 1室2名様朝食付き 56,000円(消費税・サービス料込)～  
詳細は京成ホテルミラマーレ公式ホームページをご確認ください。
6. **特徴**
  - (1)本物の運転台での運転体験
    - ①主幹制御器(マスコン)、速度計、電流計、双針圧力計、警笛ペダルなどがシミュレーターに連動、また、実際の映像や音を収録し忠実に再現しており、リアルな運転体験が可能
    - ②レパートリーが豊富  
京成上野～京成高砂(上り)のほか、  
全4区間を、3つの難易度、最大5種別で体験可能
    - ③鉄道タレント響丈さん、豊岡真澄さんによる運転士&車掌ボイス
  - (2)展示品
    - ① 乗務員室扉
    - ② 3400形正面イメージと前照灯
    - ③ 車掌台、車掌スイッチ、車掌弁
    - ④ 3人掛けシート
    - ⑤ 各種銘板類…等

このほか、ベッドには3400形をイメージしたクッションやベッドスローがつきます。

### (3) 宿泊特典

- ①「京成電鉄 3400形トレインルーム」オリジナルノベルティ
- ②お子様用京成電鉄制服の貸出
- ③カフェレストランミレフォリアでのワンドリンク

(客室・特典イメージ)



▲車掌台(左)と三人掛けシート(右)

▲3400形正面イメージと前照灯



▲お子様用制服の貸出予定

7. 協力 京成電鉄株式会社  
京成不動産株式会社  
オフィス濱崎・第一閉塞進行！(運転体験シミュレーター)  
響丈さん、豊岡真澄さん(運転士&車掌ボイス)

8. お客様のお問合せ先 電話 043-222-2111(京成ホテルミラマーレ フロント)

9. その他 ※本コンセプトルームは1室のみの提供となります。  
※室内の展示品・貸出品は予告なく変わることがあります。

以上

### ＜参考①＞京成トレインルームについて

開業20周年記念プロジェクトのひとつとして、別館である京成ホテルミラマーレアネックスにて、京成電鉄をテーマにしたコンセプトルーム「京成トレインルーム」を2022年7月から販売してまいりました。その後、京成電鉄にて新たに開発した運転体験シミュレーターを設置、一部展示品もリニューアルのうえ2023年4月から販売しており、多くのお客様からご好評をいただいております。



現在販売中の京成トレインルーム、運転体験シミュレーター

### ＜参考②＞3400形車両について

AE100形(2代目京成スカイライナー)の導入により、使用されなくなった初代AE形(初代京成スカイライナー)の台車などを再利用し、1993年から登場した通勤型車両です。今回、3418編成と3438編成の営業運転終了により、3400形は、3448号車～3441号車(8両編成)の1編成を残すのみとなりました。



3400形(京成電鉄 HP より)

以上